日本人大学生の海外留学に関する意識調査

—日本人アイデンティティと留学意思の関係—

小島奈々恵

(広島大学保健管理センター)

キーワード: 日本人アイデンティティ, 海外留学, 日本人大学生

Effects of Japanese identity on Japanese students' attitudes of studying abroad

Nanae KOJIMA

(Health Service Center, Hiroshima University)

Key Words: Japanese identity, studying abroad, Japanese university students

目 的

グローバル人材育成の一環として、「トビタテ！留学JAPAN (文部科学省, 2013)」などの留学生派遣プログラムが各大学で提供されている。しかし、海外留学する日本人の数は、2004年の82,945名をピークに減少し続け、2011年には57,501名となった(文部科学省, 2013)。経済的理由、就職活動時期との重複、内向き志向、不安などの要因が、日本人の海外留学を阻害していると考えられている(e.g., 小林, 2011; 小島他, 2014)。日本人アイデンティティも阻害要因のひとつと考えられ、本研究では、日本人アイデンティティと留学意思との関係について検討した。

方 法

分析対象者 分析対象者は、大学生262名(男性164名, 女性97名, 不明1名; 平均年齢18.69歳, $SD = .91$, 不明2名)であった。そのうち、留学経験者は10名であった。

調査手続き 無記名の質問紙を配布し、回収した。

質問紙内容 民族アイデンティティ尺度(MEIM; Phinney, 1992)を参考に、日本人アイデンティティ尺度20項目を作成した。具体的には、my ethnic groupを「日本人」とするなどの修正を加え、4段階で評定させた。留学に関する項目として、海外留学意思と日本残留意思について5段階で評定させた。留学経験の有無、性別や年齢についても解答を求めた。なお、質問紙には他の項目も含まれていたが、今回の分析には使用しなかったため、詳細を省略する。

結果と考察

日本人アイデンティティ尺度について、探索的因子分析(主因子法, プロマックス回転)を実施し、2因子が抽出された。因子負荷量の絶対値が.40に満たなかった2項目を削除し、最終的に、「日本・日本人に対する愛着(第I因子, 10項目)」と「日本・日本人に対する自己理解(第II因子, 8項目)」の2因子が得られた(Table 1)。各因子を構成する項目の合計得点を項目数で割った因子得点は、それぞれ3.22($SD = .45$)と2.34($SD = .52$)であった。

海外留学意思および日本残留意思と、各因子との関係について検討した。海外留学意思と第I因子との相関は $r = -.04$, $n.s.$ であり、第II因子との相関は $r = .10$, $n.s.$ であった。また、日本残留意思と第I因子との相関は $r = .25$, $p < .001$ であり、第II因子との相関は $r = .09$, $n.s.$ であった。つまり、日本・日本人に対する愛着が強いほど、日本にいたい気持ちが強まることが示唆された。

さらに、小島・深田(2010)に倣い、外国と日本に対する態度(行動意思)の組み合わせによって、対象者の態度を類型化した。その結果、海外留学意思も日本残留意思もある大学生が105名、海外留学意思はなく、日本残留意思はある大学生が75名であった。この2群の因子得点を比較した結果、第I因子($t(178) = .22$, $n.s.$; それぞれの得点は3.29($SD = .40$), 3.27($SD = .52$))においても、第II因子($t(178) = 1.36$, $n.s.$; それぞれの得点は2.43($SD = .46$), 2.33($SD = .57$))においても差はなかった。

Table 1 日本人アイデンティティ尺度の因子分析結果

	I	II
<u>日本・日本人に対する愛着 ($\alpha = .84$)</u>		
19 私は、日本人と一緒に時間を過ごすことを好む	.77	-.10
14 私は日本人を誇りに思う	.73	.04
18 私は日本人に強い愛着を感じる	.72	.19
9 私は日本人とよく一緒に時間を過ごす	.68	-.39
20 私は日本の文化や文化的背景を好ましく思う	.64	.09
6 私は自分が日本人であることを幸せに思う	.63	.03
17 日本人が中心となる活動に、私は参加している	.44	.15
4 私は、日本人と知り合い、より知るようになることを好む	.44	.17
16 私は食べ物・音楽・生活スタイルなどに日本的な習慣を実践している	.42	.14
15 私は、日本人と友達になろうとは思わない	-.40	.30
<u>日本・日本人に対する自己理解 ($\alpha = .81$)</u>		
12 自分が日本人であることの、自分にとっての意味を、私はよくわかっている	.08	.69
13 私は日本人としての文化的背景をより深く知るため、多くの人と日本人についてよく話し合ってきた	-.04	.69
3 自分が日本人であることの意味について、私はよくわかっている	.01	.68
5 自分が日本人であることが、私の人生にどのように影響するのか、私はよく考える	.05	.63
1 私はこれまでに、日本人のこ(歴史・文化・習慣など)をより深く知ろうとしてきた	.10	.62
8 自分が日本人であることが、私の人生にどのような意味(役割)を持つのか、私はよくわかっている	.24	-.53
10 私は日本人の歴史・文化について、より深く学ぼうとしたことがない	-.04	-.44
11 私は自分が日本人であることを強く意識する	.25	.40
因子間相関		.31